

事業所における自己評価(公表)

放課後デイサービス

公表: 令和4年5月

事業所名 乳幼児親子教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>			出席人数に応じてスペースを分けて工夫している。
	2	職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>			階段が多く完全なバリアフリーとはいえない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>			活動後の反省会や職員会議を行っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			毎年実施しフィードバックがされています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	<input type="radio"/>			ホームページに掲載されています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			定期的に行いフィードバックされています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	<input type="radio"/>			外部研修へはオンラインで参加しました。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			面談を元にサービス担当者会議を開き作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	<input type="radio"/>			更なる工夫が必要だと考えています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			特に他事業所との合同活動時に行う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>			通所してくる児童に適切なプログラムになるように、話し合いを行っています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか。		<input type="radio"/>		コンスタントに活動している為休暇別の設定は行っていない。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			作成しています。臨床心理士の助言もいただいています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをしその日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	<input type="radio"/>			確認を行っています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>			反省会を開き共有しています。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			個人の記録ノートに記し共有しています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			半年に一度個別支援計画の見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生の連絡)を適切に行っているか。	○			保護者を通じて確認しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。		○		医ケアの受け入れがあまりない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			就学前から同法人内の施設に通所している子が多数なので事前に個別の情報について理解しています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		低学齢児のみの活動となっています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		○		土曜日の開所なので平日に各自機会をもっています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			面談、連絡帳を通して共通理解を深めています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等、支援を行っているか。		○		ペアレントトレーニングについては既知ですが一つの手法でなく保護者支援に力を入れていると思います。
保護者への説明責任	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			保護者会や年度の始めに説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			面談だけでなく送迎時や電話対応などを通して応じています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	○			コロナの関係上行う事が難しかったです。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月ニュースを発行しています。

	35	個人情報に十分注意しているか。	○		個人情報同意書に基づいて運用しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		情報伝達は、紙面、口頭など複数で行い配慮しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		コロナ禍以前はおよこまつりを開催していました。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	○		学期末の合同職員会議で作成されたマニュアルを確認し訓練を実施しています。保護者への周知は契約時の重要事項説明書の説明の時に行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		○	コロナ禍により中止しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		長期休みの前に合同研修をしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		適宜行っています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者にフェイスシートへの記載をしていただいています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内有しているか。	○		反省会で事例を出し、対応について話し合っています。